

## 木育と木材利用のエンパワメント効果 生涯発達における科学的根拠

第6回新たな木材利用事例発表会  
筑波大学 安梅勅江

## 本日お話しさせていただくこと

- 1 エンパワメントとは
- 2 根拠に基づく情報提供
- 3 エンパワメントとしての木育/木材活用
- 4 実践知と科学知の協働
- 5 木育/木材によるエンパワメント展開

## エンパワメント (湧活)

人びとに夢や希望を与え、  
勇気づけ、人が本来持つ  
ているすばらしい、生きる  
力を湧き出させること

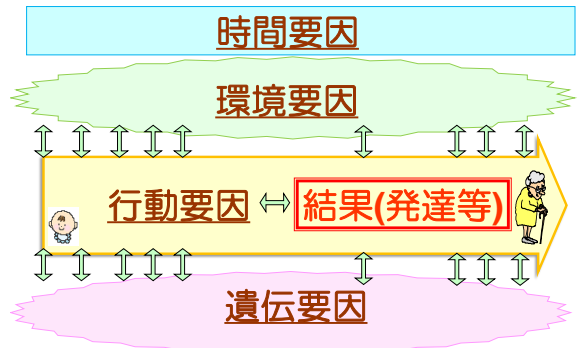


## コホート研究とは

- 語源はローマ時代の軍隊の一団
- 前へ前へと進むその姿から、  
時間軸に沿って対象を追跡すること



## コホート研究の意義



## 保育における「木育」

木に触れ親しむことを通じて  
豊かな心を育み  
豊かな子育てを実現する。

## 木育効果の評価

保育園での「木育」効果の経年変化を  
科学的な根拠を用いて評価。

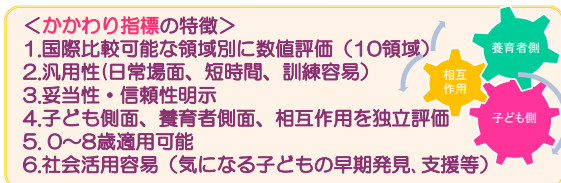
<対象>

M市保育園児と保護者168組を3年間追跡。

<評価方法>

1. かかわり指標
2. 描画
3. 発達等

### かかわり指標の活用



## 水の積み木づくり

## 光の積み木づくり

## 植物採集・お店やさんごっこ

# まつりの鈴づくり

## 親子のかかわりの変化

1) 子どもの社会性比較 (1回目と6回目)      2) 養育者のかかわり比較 (1回目と6回目)

項目	平均値	p
共感性	3.5	***
	4.6	
運動制御	3.8	**
	4.7	
感情制御	4.2	*
	4.8	

項目	平均値	p
応答性発達配慮	6.6	*
	8.0	
共感性発達配慮	6.8	*
	7.7	
社会情緒的発達への配慮	7.9	*
	8.6	

3) 親子間の調和のとれた関係性

項目	平均値	p
親子間の調和	3.4	**
	4.1	

N=137    \*: p<0.05    \*\*: p<0.01    \*\*\*: p<0.001

実施前

実施後



実施前

実施後



実施前

実施後



## 描画にみられる変化

1) 子どもの描画比較 (1回目と6回目)

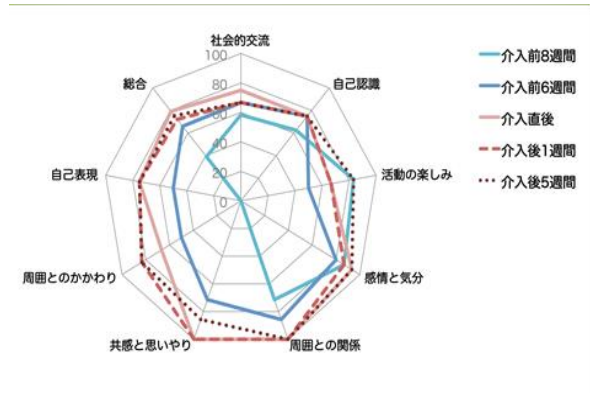
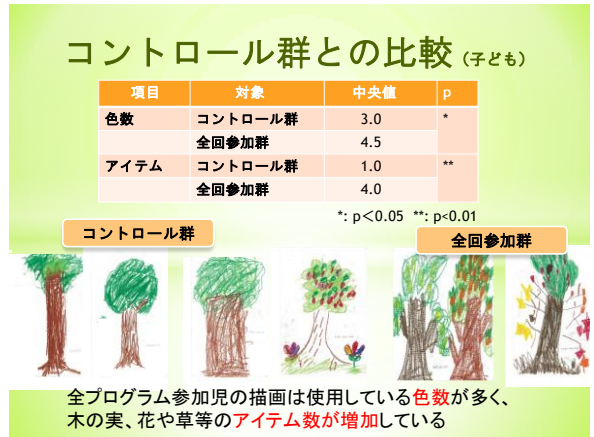
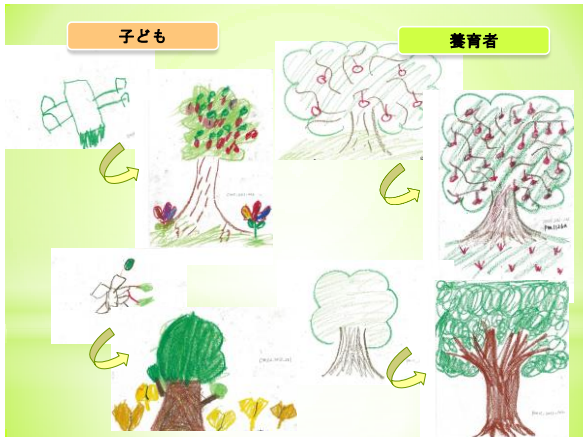
項目	中央値	p
色数	4.0	*
	4.5	
アイテム	1.0	**
	4.0	
面積	389.8	***
	458.0	

2) 養育者の描画比較 (1回目と6回目)

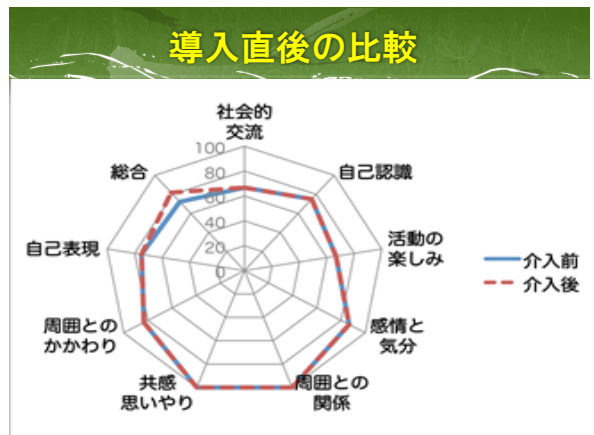
項目	中央値	p
色数	4.0	**
	5.0	
面積	340.5	***
	459.0	

\*: p<0.05    \*\*: p<0.01    \*\*\*: p<0.001



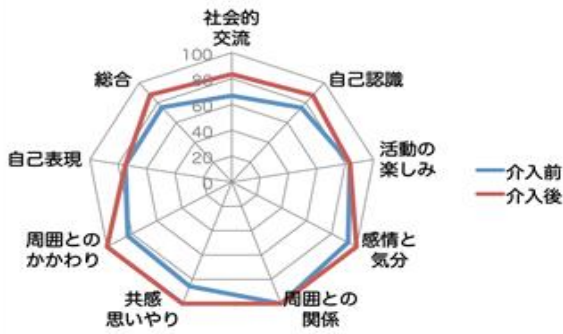


木製品導入後の変化 N=44





## 導入1か月後の比較



## 描画の変化(88歳男性) 導入前 導入後

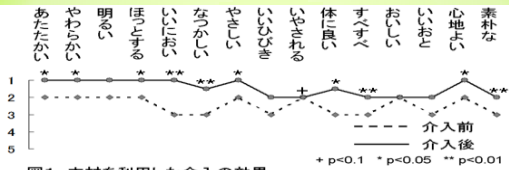


図1 木材を利用した介入の効果

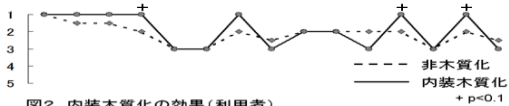


図2 内装木質化の効果(利用者)

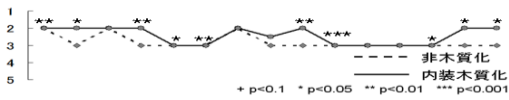
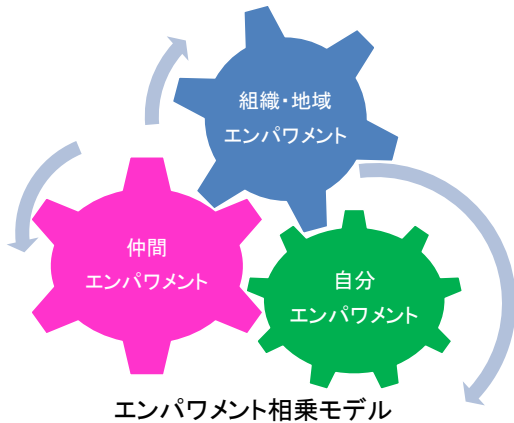


図3 内装木質化の効果(職員)

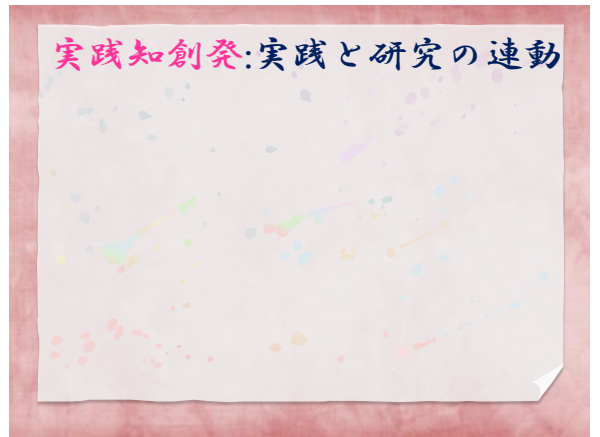
※得点が1に近いほどポジティブな回答である。

## エンパワメントの種類

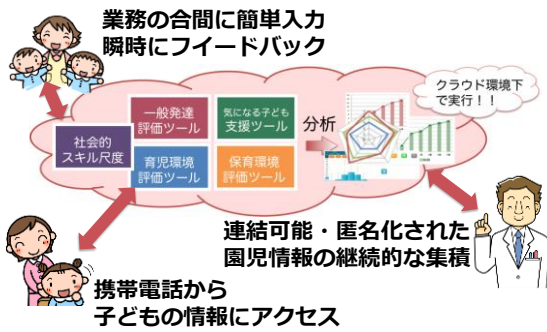
- 1、自分エンパワメント
- 2、仲間エンパワメント
- 3、組織エンパワメント



## 実践知創発:実践と研究の連動



## 実践知創発WEB活用支援 & 研究システム



## 子育て専門職の教育

## 根拠に基づく実践を拓く

誰もが主人公 新しい共生のかたち

## 木育と木材活用のさらなる展開

1. 木を楽しむ多世代交流仲間づくり
2. 子育て専門職の教育
3. 実践知と科学知をつなぐ  
仕掛けづくり

人々が持つ力を最大限に  
発揮し共感する

エンパワメント技術を活用